参考様式１

＜記入上の注意・記入例＞

若者相談支援拠点設置運営事業　事業計画書

※各ページ内に収めてください

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| １　実施方針 | | | | |
| ●この事業を実施するにあたって、団体としての考え方を記入してください。  例）同じ〇〇地域に暮らすこどもや若者（以下、若者等とする）の中に、学校にも通えず、人と接することもなく、一人で苦しい気持ちを抱えている方がいる。そのような若者等やその家族から話を聞くことにより、少しでも気持ちが軽くなるよう、そして、一歩でも前に進められるよう、当団体で支援するとともに、各種関係機関等と連携して、誰もが暮らしやすい〇〇地域の実現を図る。 | | | | |
| ２　企画内容 | | | | |
| （１）基本事項…必ず実施する事業 | | | | |
|  | ① 相談窓口の開設 | | | |
|  | 相談・支援の形態 | | |
| ※　該当するもの全てに  　　　○をつけてください。 | | 受付日・時間及びその他特記事項 |
| ○ | 面談 | 例）原則として月～金曜日（事前予約を優先する） |
| ○ | 電話相談 | 例）毎週月～金曜日　10:00～17:00　（12:30～13:30　除く） |
| ○ | 訪問支援 | 例）来所相談等により、必要性を確認後に実施 |
| ○ | ＳＮＳ相談 | 例）常時受付、休日の場合は、確認後速やかに対処する |
| 〇 | 出張相談 | 例）必要性を確認後に実施 |
| 〇 | その他 | 例）医療機関や就労支援機関等への同行支援 |
| 相談受付後の流れ  ≪支援を開始する場合≫  例）  　①電話等により初回相談予約  　②初回相談を来所相談により行い、利用者登録後、当団体の支援メニューの利用開始となる  　※詳細は別紙「相談受付後の流れ」を参照 | | |
|  | ≪専門機関を紹介する場合、紹介先の機関で支援が開始・継続されるために工夫する点≫  例）  　・相談者からお話を詳しくお聞きし、本人の状態、希望を実現するために、適切な機関がある場合に専門機関に紹介する。  　・専門機関に紹介する場合には、相談者に説明し同意を得たうえで、事前に紹介先の機関に連絡し、相談概要を伝え、相談に行く日程調整を行い、スムーズに支援開始できるようにする。  　・専門機関に紹介後については、支援が継続されているかどうかを定期的に確認する。 | | |
|  | 出張相談会等を実施するに当たり、実施方針、周知の方法、工夫する点等  例）  ・周辺市町村の○○市において定期的に開催し、将来的に○○市の独自の相談会となることを狙う。  ・気になる若者がいる方向けの講座を実施し、来場しやすいようにする。 | | |

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | ② 困難を有する若者への居場所の提供 | | | | | | |
|  | | 企画提案時で想定される居場所の概要（居場所の提供場所、提供頻度、提供時間、居場所の提供時に実  施すること等）  例）  ・学校に行くことができない、又は、所属がなく、自宅以外に居場所がないという若者等が、スタッフや他の利用者と交流することを通して、コミュニケーション能力等、社会性を身につけることを目的とする。  ・毎週月～金曜日の13時から17時まで、事業所内の〇〇で「フリースペース〇〇」を開所する。  ・想定される利用者は、小学生～大学生等の不登校の当事者、中途退学者、不就労者の他、生きづらさを抱えながら生活している若者等。  ・原則として支援スタッフが常駐する。  ・居場所を運営するに当たっては、当団体で設定したメニューをしてもらうだけではなく、利用者の自  　主的な取組みや希望等について幅広く取り入れ、自分らしさを発揮できる場所をデザインする。 | | | | |
|  | ③ 各支援機関との連携体制構築 | | | | | | |
|  | | 他の若者相談支援拠点、地域の支援機関、団体との連携体制構築に向けて、企画提案時点で想定される内容  例）  ・他の若者相談支援拠点との連携の仕方について  ・必要に応じて、○○地域内の関係機関（保健所・生活困窮者窓口、精神科医療機関、社会福祉協議会）とケース会議を開催し、きめの細かい連携を図っていく。  ・民生委員・児童委員の研修会等の機会に、「困難を有する若者」について講座を実施し、より多くの方から理解を得られるように周知する。 | | | | |
|  | ④ 地域住民への理解促進・普及啓発を目的とした講演会 | | | | | | |
|  | | 企画提案時点で想定される講演会の概要（テーマ・周知方法・想定来場者数等）  例）  ・当団体を利用している方に出演してもらい、困難を有する若者の経験談を直接聞くことのできる講演会を開催する。  ・周知は、団体ホームページ、フェイスブックに掲載するほか、管内の市町村を通して民生委員・児童委員に周知することに加え、作成したチラシを○○地域内の関係機関やスーパーなどに設置してもらうことで、より多くの方の目に留まるようにする。  ・会場は、××を想定しており、50人の来場を想定する。  ・来場者にはアンケートを依頼し、個別相談をしたいという要望があった場合には、後日相談に繋がるようフォローする。   * お手数ですが適宜行を追加の上お使いください。 | | | | |
| （２）選択事項･･･①～④の中から選択して実施する事業 | | | | | | |
|  | 選択事項１　　(実施事業に○を記入してください) | | | | | |
| ○ | ① 多様な体験プログラムの提供による自立  　 支援 | | |  | ③ 地域での理解促進や協力に向けた機運醸成 |
|  | ② 家族を対象とした支え合い学び合う場  の提供 | | |  | ④ その他申請者の独自企画であって、若者  支援に有効であると認められる事業 |
| 事 業 名 | | | ●選択した事項の事業名称を具体的に記載してください。  例）自然に触れ合う農作業体験 | | |
| 事業の趣旨・  目的 | | | ●現状における課題を踏まえ、実施する事業の目的等について簡潔に記載してください。  　例）対人関係が苦手な利用者の方を対象に、不登校等で体験できなかったことに挑戦  　　　できる機会を創出し、成功体験を積み重ねることで、利用者の自立を後押しする  　　　ことを目的とする。 | | |
| 事業内容 | | | ●事業の概要（いつ、どこで、誰を対象に、何を、どのくらいの規模で、何回くらい、どのように行うかなど）、事業の特徴・ポイント（創意工夫した部分、これまでの経験を生かした部分など）、その他について、具体的に記載してください。  例）  ・毎週水曜日の13時～15時に実施する。  ・想定される利用者は、小学生～大学生等の不登校の当事者、中途退学者等。  ・原則として支援スタッフが常駐する。  ・季節や作物の生長の状況に合わせて、適宜利用者とコミュニケーションをとりながら実施し、収穫にむけて試行錯誤しながら農作業に取り組むことで、やりがいを感じられるような内容になるよう工夫する。 | | |
| 事業目標 | | | ●事業の利用者数や講座等の参加者数、課題となっている現状の改善等、目標とする事業効果等について記載してください。  例）農作業体験を実施することで、利用者に達成感の醸成を促すとともに、スタッフや  ほかの利用者との交流から社会性の向上を図り、円滑な社会復帰を支援する。また、季  節に応じた共同作業を積み重ねることで、就労への意欲喚起や持続的な対人関係の形成  といった、自立に向けた基盤を整える。  ⇒４月～翌年３月まで実施し、のべ30人の参加。 | | |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| （２）選択事項･･･①～④の中から選択して実施する事業 | | | | | |
|  | 選択事項２　　(実施事業に○を記入してください) | | | | |
|  | 1. 多様な体験プログラムの提供による自立支援 | |  | ④ 地域での理解促進や協力に向けた気運醸成 |
| ○ | ② 家族を対象とした支え合い学び合う場  　　の提供 | |  | ⑤ その他申請者の独自企画であって、若者  の支援に有効であると認められる事業 |
| 事 業 名 | | ●選択した事項の事業名称を具体的に記載してください。  例）家族を対象としたお茶会の開催 | | |
| 事業の趣旨・  目的 | | ●現状における課題を踏まえ、実施する事業の目的等について簡潔に記載してください。  例）同様の悩みを抱える親など、ご家族が定期的に集まって話し合う機会を創出し、家族の心を軽くすることにより、家族の生活の質を高めるとともに、家庭内の空気を変え、当事者自身の生きづらさの緩和に繋げることを目的とする。 | | |
| 事業内容 | | ●事業の概要（いつ、どこで、誰を対象に、何を、どのくらいの規模で、何回くらい、どのように行うかなど）、事業の特徴・ポイント（創意工夫した部分、これまでの経験を生かした部分など）、その他について、具体的に記載してください。  例）  ・毎週土曜日の13時～15時に、フリースペースを家族向けに開放する。  ・お茶やお菓子を食べながら、楽しく過ごせる空間を創出する。  ・スタッフの関与は最小限とし、ご家族同士での自由な会話ができる場を創出する。  ・初めて参加する方に対しては、無理に話しをさせるようなことはせず、継続的な参加に繋がるよう配慮する。 | | |
| 事業目標 | | ●事業の利用者数や講座等の参加者数、課題となっている現状の改善等、目標とする事業効果等について記載してください。  例）家族会を定期的に開催することで、支援される側であった家族が、他の人の力になれることへの気づきを促したうえで、ボランティアの支援者として居場所やこども食堂などの場へ積極的に参加してもらえるよう働きかける。  ⇒家族会から、ボランティア支援者として、居場所やイベント等にのべ30人の参加。 | | |

* 選択事項を３以上実施する場合には、お手数ですがコピーの上お使いください

|  |
| --- |
| （３）相談拠点の広報・周知方法…基本事項・選択事項を併せた提案事業全体について記入ください |
| ●相談拠点の広報や関係機関との連携など、本事業を周知し、支援対象者を誘導するための方法について記載してください。  　例）  　・リーフレットを□部作成し、市内公民館○か所に設置。  　・団体Ｘ（旧Twitter）を活用し、情報発信を行う。  　・出張相談会のお知らせを市町村広報へ掲載してもらう。 |

|  |
| --- |
| ３　事業効果 |
| (1) 事業実施により見込まれる主な効果・成果  　●提案事業全体の実施を通して得られる成果などについて記載してください。  　　（これまでの項目において既に記載した内容の再掲でも可）  例）  　・生きづらさを抱える若者やその家族が、本事業を利用することにより、その生きづらさが軽減される。  　・フリースペースの開設により、不登校傾向にあるこどもたちの居場所を提供し、その後ひきこもり状態等になることを予防する。  　・民生委員・児童委員等、地域の方に理解を広げ、地域の方々が若者を応援する地域づくりを進める。 |
| (2) 事業効果を高めるための工夫  　●提案事業の実施効果を高めるための工夫等について記載してください。  （これまでの項目において既に記載した内容と重複可）  例）  　・団体・法人内の関連事業との連携について（就労への希望があった場合は、就労支援事業へつなぐ等）  ・年２回、利用者アンケートを実施し、利用者の満足度と、ニーズの把握を行い、一人一人に寄り添った支援の充実を図る。  ・定期的にフリースペースに地域の方を招待し、利用者の若者と一緒に活動する機会を創出する。  ・他地域の受託事業者と共同し、利用者の合同イベントを行う。 |

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| ４　業務実施体制 | | | | | | | | | |
| 相談拠点の概要 | 所在地・連絡先 | 〒 | | | | | | | |
| ＴＥＬ |  | | | ＦＡＸ | |  | |
| 名称等 | ※相談拠点の通称や愛称がある場合記入してください  例）△△△△「○○○プラザ」 | | | | | | | |
| 提案事業に  従事する  職員の体制  ※別添資料とすることも可 | 氏　　名 | | | 職　名 | 提案事業における役割 | | 経験年数 | | 特記事項 |
| ●法人・団体としての体制ではなく、本事業における実施体制について記載してください。 | | |  |  | |  | |  |
| 過去３年間の  同種の事業に  おける実績 | ●過去３年間における、困難を有するこども・若者への支援実績について記載してください。 | | | | | | | | |
| 利用者の安全確保対策や感染症拡大防止対策 | ●基本的な予防策のほか、相談対応や居場所対応等をする上での具体的な対策を記載してください。 | | | | | | | | |
| 提案事業全体の  実施スケジュール | ●委託契約締結から事業完了報告までの、予定される年間のおおまかな事業実施スケジュールについて記載してください。 | | | | | | | | |
| 職員のスキル向上に関する取組み | ●研修会等への参加による知識の向上、資格の有無や取得予定について記載してください。 | | | | | | | | |
| 情報管理体制 | ●守秘義務遵守のための職員の教育や、個人情報の取り扱いなどについて記載してください。  ●専門機関への紹介が必要な場合の個人情報の引継ぎに関する手続きについても記載してください。 | | | | | | | | |
| 緊急時の対策 | ●事故発生時の連絡体制や対応方法、対象者及び職員に対する安全対策などについて記載してください。 | | | | | | | | |
| 他の公的支援事業との関係 | ●他の公的機関等から委託や補助を受けた類似の事業を実施している場合、今回実施する事業との関係について記載してください。 | | | | | | | | |

|  |
| --- |
| ５　令和７年度まで「若者相談支援拠点設置運営事業」受託者のみ記載 |
| 企画提案について現在実施している内容から変更（見直し、発展、拡充）した点があれば記載してください。 |